

『街の不動産屋』であり続けるために
大手が出来ないニッチなサービスを貫き続けたい。

有限会社 東邦商事
代表取締役 松永磨章 氏

Index

01. FACE

有限会社 東邦商事
代表取締役 松永磨章 氏

02. EventReport

第27回「法人会全国青年の集い・広島大会」
夏休み親子体験学習
税務署長講演

03. NewMember

入会メンバー紹介

04. Voice

新入会員の声



町田法人会 青年部会

有限会社 東邦商事

- 代表者 代表取締役 松永磨章
- 創 立 昭和52年
- 所在地 町田市原町田3丁目8-5
- TEL 042-724-1331
- 業務内容 損害保険業

01. FACE
◀◀◀NEXT PAGE◀◀◀

生後間もない頃から町田在住という松永さん。町田一小、二中、山崎高校卒業で法人会には同級、同窓生も沢山の町田っ子。青年部会では研修担当の副部長として、またマチビズなど法人会を越えた場面でも常にその中枢として活躍して下さっています。今回のFACEは、そんな松永さんにスポットを当ててみました。

Q 松永さんが現在のご職業に就きたい職業を簡単に教えてください。

A 僕はアベ企画の安倍さんと同じで小中とずっと水泳部。一期生だった山崎高校でも水泳部を立ち上げた世代です。高校卒業後は、夜間ハンディキャップやリハビリ指導の学校に通いながら、昼間はスイミングの指導など色々な仕事を経験しました。水泳の指導者として就職したのですが、バブルの絶頂期だったので会社がだんだん別の事業にシフトしていきま

税務署長講演「税務調査のよもやま話」

2013年9月11日 法人会事務局

川鶴信行町田税務署長を迎えて、昭和55年頃からの税務調査について、昭和三十九年からの推移を踏まえた海外との比較が出席、法人税率や所得税率など興味深く伺いました。

夏休み親子体験学習 見学研修会

2013年8月24日 環境エネルギー館とカップヌードルミュージアム

参加・体験型の展示を中心とした新しい環境システムなミュージアムでは、チキンラーメンとカップヌードル作りの2班に分かれて楽しみました。

03 NewMember 入会メンバー紹介 2013/4~

一般社団法人 地域活性化推進協会/森元健一郎さん	2013/4
株式会社 日比谷花壇/背戸麻里子さん	2013/4
ワンストップビジネスコンサルティング渋谷/渋谷 弘さん	2013/4
株式会社 内藤ビル/内藤太郎さん	2013/4
有限会社 フォーシーズン/成澤智寿さん	2013/5
リラクゼーションサロン おれんじ整体院/河本智行さん	2013/5
株式会社 愛育/黒岡優子さん	2013/5
株式会社 白川商事/白川哲也さん	2013/5

04 Voice 新入会員の声

有限会社 蔵家 / 浅沼 芳征さん (2013年7月入会)



はじめまして。町田木曾の酒専門店「蔵家」の浅沼芳征と申します。1969年2月生まれ、木曾小、木曾中まで地元で過ごし、1993年大学卒業後は、家業には振り向くことなく広告会社電通に入社しました。北海道支社からスタートし、本社に戻りメディア部門、人材育成部門、営業では製菓

会社、映画会社担当としてCM製作から、PRイベント、タイアップなどを担当しております。

2~3年位前から、ふと家業を振り返るようになりまして。すると時代の流れに逆行するような、対面販売に拘っている酒屋が非常に新鮮で興味深く映ったのです。デジタルがビジネスの軸を占める昨今、このような会社は絶対に残すべきと考え、責任を受け継ぐという意思で、2013年3月満20年という節目に社を去ることを決めました。

「蔵元、生産者が一生懸命作られた作品を、造り手と一蓮托生という気持ちで価値と

想いをお客様にしっかり伝える。」「そのコミュニケーションを経て届いたお酒は、きっとお客様の時間を素晴らしいものに変えてくれるはず。」このコンセプトは不変と信じ、社の企業理念となっています。

大きな回り道を経て町田に帰ってきたこと、この時間を逆に強みとして、地域への貢献と共に、明るく楽しく、そして周囲を幸せにできるよう、これからエネルギーに責務を全うしていきたいです。皆様、これから長く太いお付き合いを宜しくお願い致します。

公益社団法人 町田法人会 青年部会

東京都町田市森野1-9-20 第二矢沢ビル4階
電話 042-726-2453 FAX 042-724-5853
URL <http://www.hojinkai-machida.or.jp/>

ザ・青年タイムス Vol.58

- 発行日 2014年1月15日
- 発行 公益社団法人町田法人会青年部 総務・広報委員会
- 題 字 三橋信介
- 制作 株式会社 Vision Design

第27回「法人会全国青年の集い・広島大会」
租税教育活動プレゼンテーションで優秀賞受賞

2013年11月7日・8日 広島市内

「百万一心 東ねよう三本の矢を！」がスローガンの広島大会は、サミットや式典の他、記念講演会に経営者としての顔も持つ

吉川晃司氏が登壇。町田法人会からは青年部30名と木目田会長も参加し、租税教育のプレゼンで優秀賞を頂きました。

青年部会への入会は人生のターニングポイントとなりました。

「まさか本当にこの地に来れたなんて♪」新幹線を降りる時、しみじみと振り返りました。「広島に行きたいんだ！」杉浦前部会長の熱い眼を拝見した昨年、「牡蠣食べたいです！」反射的にそう答えた私、実は税金の知識が小学生レベルでした。だから声を掛けていただいたのかもしれませんが、租税教育の資料を読みあさるうち「つまらないな〜。これでは勉強したくないだろうな〜。」と感じるようになりました。ではこのような「押し付ける教材」ではなく「教えずに伝える教材」、「自分自身で答えを導く教材」だったら？

劣等生らしいその視点から、紙芝居「かねしばい クイズだ税」は生まれました。第一巻は大声で答えたい税金クイズ、第二巻は税のない世界は不便が待ってる、第三巻は健康に成長した体で未来に何を伝えたい？絵や語りは「紙芝居」ですから遊びがありますが、内容は意外と真面目なんです。

「さあ、この紙芝居で東京都代表になろうね！」雨宮部会長をはじめ青年部会の皆さんは、東法連での選出を目指して、租税教育チームを結成。その結果、皆で楽しく制作した紙芝居舞台を引っ提げた部会長の、綿密に練られた文章と練習の成果は見事に実り、東京都代表に選ばれたのです！お聞きした瞬間、私は号泣しました。



広島に向けた会議では、過去に受賞した会の特徴や、審査員の評価得点基準などのアドバイスを受けながら、プレゼン用パワーポインや動画作りにも同席しました。そんな中で、皆さんの得意分野が活かされていることを常に実感していました。疲れが蓄積されながらも、皆さんが和やかに目標に向かって進んでいる姿が素敵でした。

念願の広島大会では、木目田会長はじめ青年部会の皆さんのお顔を拝見しながら、安心してワクワクするプレゼンが実現しました。応援ありがとうございました。残念ながらあと一步の優秀賞でしたが、この間ますます強くなった団結力は、まさに宝物ですし、広島で何日も共に行動させていただく中でも、たくさんのお話を学びました。皆さんのようにカッコいい大人を目指し、未来に続く税金紙芝居を新たに作りたくっています。

(租税教育担当 紙芝居師さるびあ亭かーこ。)



町田法人会の青年部会長になって約半年、例年の全国大会とは異なり租税教育活動事例発表のプレゼンテーションを行う立場で、全国大会に参加してきました。その前8月26日の東法連の代表選考会には三法連(第6ブロック)の代表としてエントリーし、「かねしばい クイズだ税」で租税教育を行うプレゼンを実施。初めての紙芝居で出来栄は定かではありませんが翌日無事に東京代表という吉報を頂くことができました。

そしてここから本番。ペーパーベースから画像等を使った実際の模様へとブラッシュアップ!東法連の役員の方々とも検討会を行い全国で披露するためにアドバイスや構成の練り直しを経て、締切間近から青年部会の本領発揮!!パワーポイントと画像を組み合わせて、東京代表としてのプレゼン資料「かねしばい クイズだ税」が夜も更けた頃に完成しました。

その後は演者として、かーこ。さんと私がどう伝えるかがカギになりました。何度も練習を行い、出発前日にはメンバーの前でリハーサル。しかし何度やっても10分の持ち時間に9分のプレゼン…。しかしオーバーする



よりは!と運を天に任せました。

そして広島での本番前リハーサル。なんと動画が出ない…。こんな状態が2度、しかし何とか本番を迎える事ができました。木目田会長をはじめ大勢の応援のおかげで(やっぱり)1分短いプレゼンでしたが丁度良い時間で終わる事ができました。その後、部会長ウェルカムパーティや部会長としての行事が多く町田法人会青年部会として動けませんでした。最後に合流でき、寝る前のお好み焼大量喰いで眠れぬ胸焼けナイトになりました(笑)。

そして翌日の表彰式。リハーサルに出席できなかったのですが、まさか最初の優秀賞に呼ばれるとは…。

どうしたら良いのか分からないまま前にお辞儀。嬉しいようなホッとしたような悔しいような…そんな思いが混じった一瞬でした。

他では味わえない貴重な経験だった今回の全国大会。作成に携わって頂いた方、広島まで応援に来てくれた方、そして町田で暖かい応援をありがとうございました。熱い町田法人会青年部会魂を感じることができました。本当に感謝しております。今回優秀賞を頂いた「かねしばい クイズだ税」をこれからも子供たちに広めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

(青年部会長 雨宮 淳)

Q 凄いですね。そして、晴れて松永商事に入られたんですね。
A 不動産会社では宅建業法で業態の規制があるんです。松永商事入社に合わせ、保険業務を独立して扱う東邦商事という会社も持っていたので、そちらの保険業務も任せてもらいました。
Q そういう事なんですか。不動産会社さんという、物件の売買や管理がメインだと思のですが、松永さんが目指すところは何ですか？
A 昔は町田には地の不動産屋さんしか

なくて、自分の方向性と明らかに違うなと思ったのでその会社を辞めたんです。
Q 方向性が違うというのは？
A 僕ね、リハビリ指導とかハンディキャップがある子供の指導も持っているんですがやりたくて資格も持っているんですけど、会社はやはり営利主義になっていて。そこに同調できなくなったというか、つまらなくなってきたことなんです。24歳の頃でした。さて、そこから何をしようか、って考えていた頃、父がこれまでずっとやってきた松永商事という不動産会社を父の代で畳む、と言いだしました。せっかく町田で30年以上続いていたし、じゃあ、自分がそれをやれないだろうか、と。でも僕には全く不動産の知識がない。不動産どころか商売を行うのに必要な知識も全くなかったんで、会社を継ごうと決心して「金融」「保険」「不動産」、この3つを極めようと思い、三井系の銀行に5年、日産火災で1年働きました。最初の三井系の信託銀行では関連の住販会社で仕事も出来たし、当初の目的通り、必要な知識をぎゅっと習得することが出来たんです。
Q 凄いですね。そして、晴れて松永商事に入られたんですね。
A 不動産会社では宅建業法で業態の規制があるんです。松永商事入社に合わせ、保険業務を独立して扱う東邦商事という会社も持っていたので、そちらの保険業務も任せてもらいました。



上)現場と社内の往復で多忙な毎日を送っている松永さん。デスクの上には処理しきれない膨大な資料が。中・下)文学館通りで45年、街の不動産屋さんとして信頼は厚い。

なくて、うちみたいに小さい会社で、しかもこの町田で40年以上やっているとなると、やはり地域と共に歩んできたという想いもあるし、皆さんに育ててもらったという感謝の気持ちがあります。それが近年だんだん大手の不動産屋が入って来て。彼らがやっている事は実はとても簡単な事ばかり。でも、そんな大手と競合しながらやっていくのはやはり難しくなってきたんです。そんな中でうかが生き残っていくには、何か強みを出してやっていく、と。そこで、大手がやらないこと、大手には絶対出来ないニッチな部分をやっていく、と決めました。それが松永商事として父が40年以上続けてきた町田の不動産会社としてやるべきことなんだと思っています。
Q 具体的にはどんな事なんですか？
A 色々あるんですが例えば、大手では絶対扱わない少額物件の売買や、裁判になるほどではないレベルの大家さんと借主さんの間の細かいトラブル調整、特殊な事情で普通に物件が借りられなくて困

っている人へのサポートとか。殆どお金にからない、でも必要な仕事です。
Q なるほど。誰もやりたくないような細かくて煩雑な仕事を進んでやっていると、感じるんじゃないですか、大変ですね。でも松永さんは青年部会で殆どの行事にかなりの時間を割いていらっしゃるんですよね。仕事に差し支えないですか？
A そうですね、青年部会だけじゃなく支部でも動いているし、法人会以外では商工会議所の不動産部会の幹事や、市役所でも青年部会長の役を頂いたり、市役所でも不動産相談員をしています。実質一週間のうち、仕事以外のそういった活動はもの凄く多くて、正直、仕事出来ないよ、というくらいです(笑)。でも、そこをやっていくのがうちのスタイルだと思っっているし、逆に期待されちゃうとやっちゃう性格なんですよね。
Q そうなんですか。皆に頼りにされていますよね。
A 僕は何の取り柄もないけれど、友達が多いのと『喋り』が出来る。この2つを生かしてできること、というところかな

な、と。大変だけど、人から任せられたりお願いされることは、引き受けた以上、必ずやり通すと決めているので仕方ないですよ(笑)。
Q 友達が多いのはそれだけ信頼されていることで財産ですよ。ステキですよ。
A そうですね、友達だけは昔から多いですね。今でも月に一度は、小・中・高のどれかの集まりがありますね。
Q それだけ忙しいと、プライベートなんて全くないですよ。オフはあるんですか？
A 不動産業って土日は営業するので水曜が休みなんです。1日しかないから遠出できないので、妻とドライブしたり、そんな事くらいですかね。昔はツーリングしたりヨットに乗ったり、そんな事もしたんですけど。最近は専ら近場でまったりですよ。
Q 連日、青年部会や町田の為にフル稼働の松永さん。これからも働き過ぎと飲み過ぎ付き合ひ過ぎに気を付けてください。ありがとうございます。
01 FACE